

第5章 地区別方針(案)

地区別方針は、市域のうち概ね用途地域を指定している範囲を4つの地区に区分し、全体構想(分野別方針)を踏まえながら、各地区の特性を活かした地区づくりの方針を示すものです。

○ 地区設定の基本的な考え方

地区設定については、各地区が有する機能や特徴、目指すべき将来の姿が明確になるよう、縦軸となる阿武隈急行線、横軸となる国道113号及び県道角田山元線の地形地物を基準にした上で、現在の用途地域の境界を踏まえ、「角田地区」「角田西地区」「角田北地区」「岡・君萱地区」の4つの地区に設定しました。

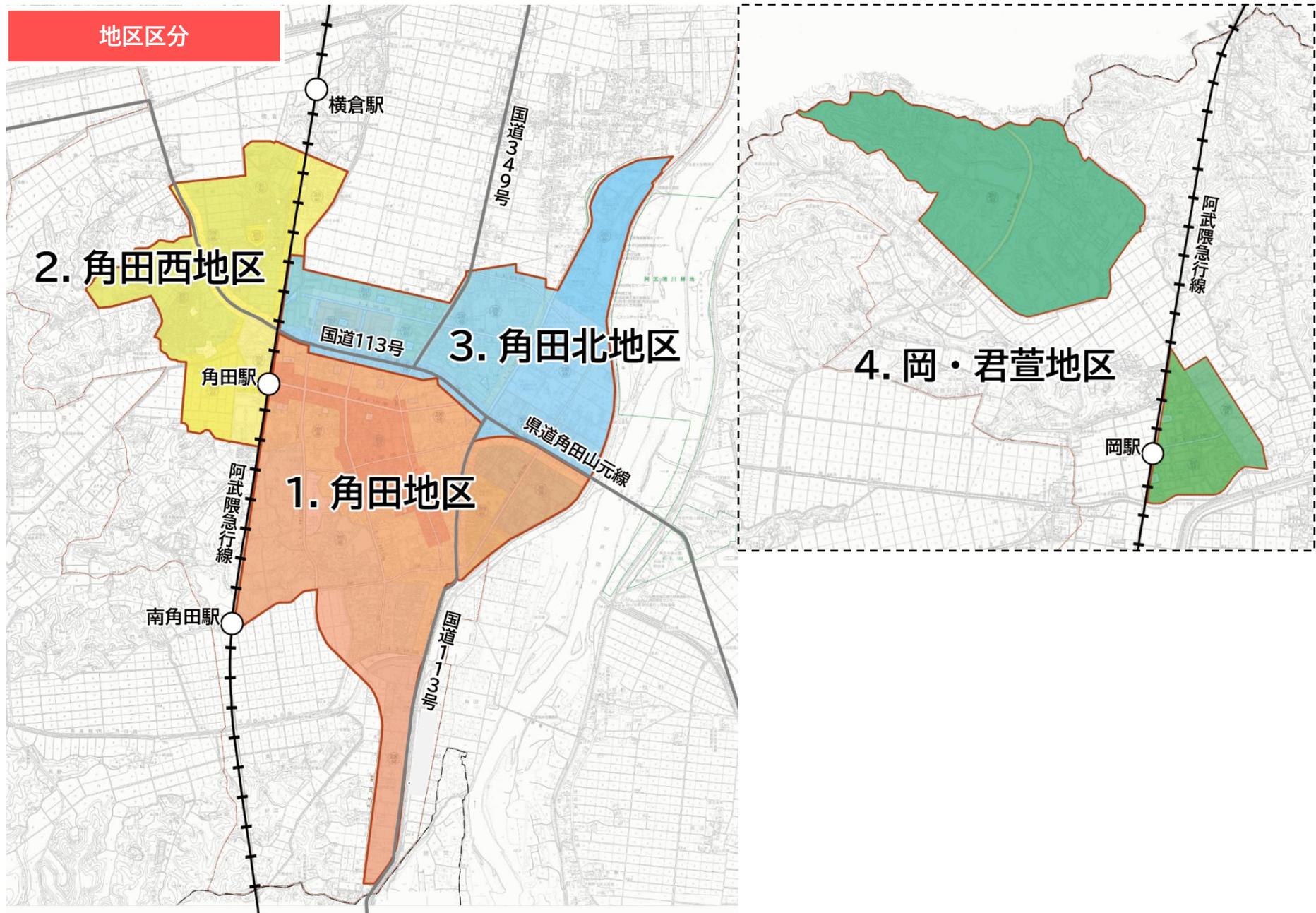
○ 地区別方針の構成

①地区の将来像

地区の将来像は、これからの街づくりにおいて目指す将来の地区の姿を示すものです。誰もが安心して、いきいきと誇らしく暮らせるまちを目指して、概ね10年後の地区の将来像を定めます。

②地区づくりの主要方針と具体施策

前章までで整理した分野別の課題と都市づくりの方向性に基づき、4つの地区において、それぞれの将来像を実現するため、地区づくりの主要方針と具体的な施策を示すものです。4つの地区ごとに方針図を併せて示しています。



概要追加予定

①地区の将来像の方向性

市の中心拠点 豊かな暮らしとにぎわいの創出に向けた地区づくり

②地区づくりの主要方針と具体的施策

●市の中心拠点としてのにぎわいの創出に取り組みます。

- 中心市街地内の住宅地については、用途地域に基づく適切な土地利用の誘導を行うことで、生活利便性の高い中心的な居住地としての利活用を図ります。
- 商業地域に指定しているエリアの既存商店街においては、空き店舗や空き家の有効活用を推進しながら魅力ある市街地の形成を図るとともに、商店街の活性化支援策の検討を行います。
- 角田駅から市役所の周辺エリアにおいて、若者からお年寄りまで多様な世代のニーズに応じた店舗、商業施設の立地誘導など、拠点機能の維持と更なる充実を図ります。
- 道の駅かくだとKスポが連携したイベントを充実させるとともに、体験型観光事業との連携を図ることで、集客効果が市内各所に波及するよう、市民や来訪者が市内を回遊できる環境づくりを推進します。
- 市内の保育所・幼稚園・児童センターや、小学校・中学校・高等学校、図書館、生涯学習施設などが集中して立地しているエリアであり、その周辺に居住エリアも広がっていることから、子育てや学びの場としての利便性の向上について検討します。

●角田地区準工業地域周辺の土地の利活用に取り組みます。

- 準工業地域に指定しているエリアにおいては、新たな産業用地の確保に向けた用地の紹介等を行います。
- 都市計画道路南町野田線について、計画的に整備を進めるとともに、将来的には用途地域の変更を含め、周辺土地の利活用について検討を行います。

●安全で快適に生活できる市街地の形成に取り組みます。

- 第一種住居地域に指定しているエリアについては、住宅と商業・業務施設が併存した利便性の高い複合型住宅地の形成を図ります。

- 第一種中高層住居専用地域や第二種中高層住居専用地域に指定しているエリアについては、都市基盤の適切な維持・管理を図りながら、ゆとりある緑豊かな住宅地の形成を目指します。
- 市営住宅については、修繕・改修などの長寿命化対策を計画的に推進するとともに、将来的な見通しを踏まえ、施設の適正なあり方について検討します。
- 道路や歩道、公共施設などにおいては、関係機関や事業者との連携・協働を図りながら、バリアフリー化や多言語化、ユニバーサルデザイン化に取り組みます。
- 快適な住環境の形成のため、公園の整備状況や利用範囲等を考慮しながら、新たな街区公園の設置を検討します。

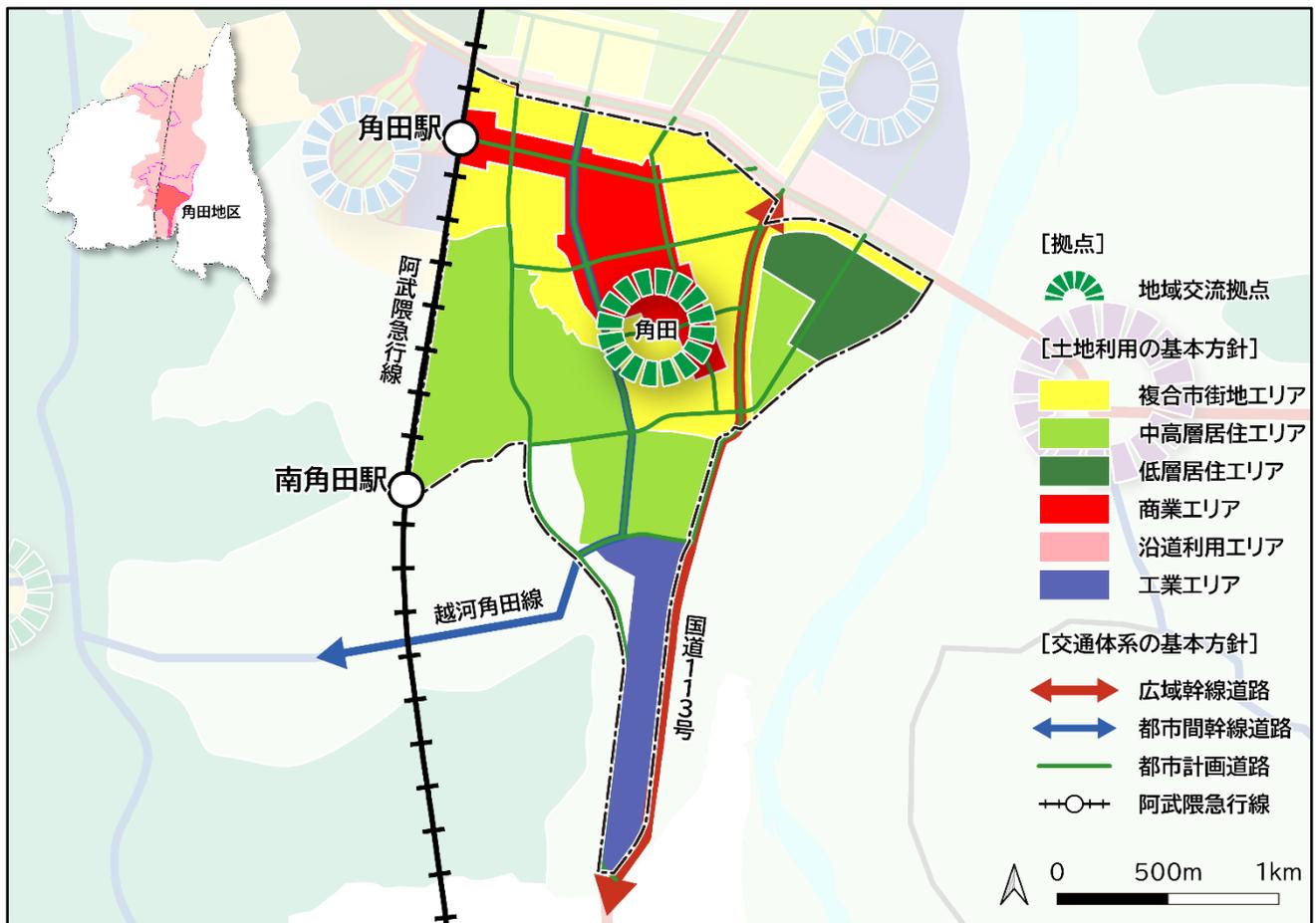
●災害に強い安全・安心な都市環境の形成に取り組みます。

- 安全・安心な道路空間の整備を進めるため、歩道やマンホール等の段差や狭あい道路の解消に取り組みます。
- 公共下水道については、令和元年東日本台風による降雨被害を考慮し、「角田市防災・減災構想」及び「角田市雨水管理総合計画」に基づいた浸水対策を進めます。
- 避難行動時における安全性の確保を図るため、避難所や避難路の周辺にある建物の耐震化を推進します。

●角田地区の歴史を活かした景観の形成に取り組みます。

- 「仙南地域広域景観計画」に基づき、角田城址、台山公園を中心とした丘陵地や阿武隈川の環境の保全に取り組みます。
- 角田中心拠点においては、歴史を感じさせる建築物や点在する歴史文化資源を活かし、郷土資料館と調和した歴史と伝統・文化を感じさせる市街地景観の形成に努めます。
- 市街地内の住宅地においては、街並みの背景となる丘陵地の緑や田園風景との調和に配慮した景観形成を図るとともに、うるおいのある緑豊かな景観の維持に努めます。

■ 角田地区のまちづくり方針図



2 角田西地区

概要追加予定

①地区の将来像の方向性

新たな活力の創出拠点 人が集まる地区づくり

②地区づくりの主要方針と具体的施策

●地域の新たな活力創出に向けた土地利用の展開に取り組みます。

- 角田駅西側の土地の利活用について、人口減少が進行する現状においても、本市の新たな活力を創出するために、用途地域の見直しを含め、土地利用のあり方を検討します。
- 周辺住民や駅利用者、周辺企業の従業者等の利便性の向上のため、土地の利活用について検討します。

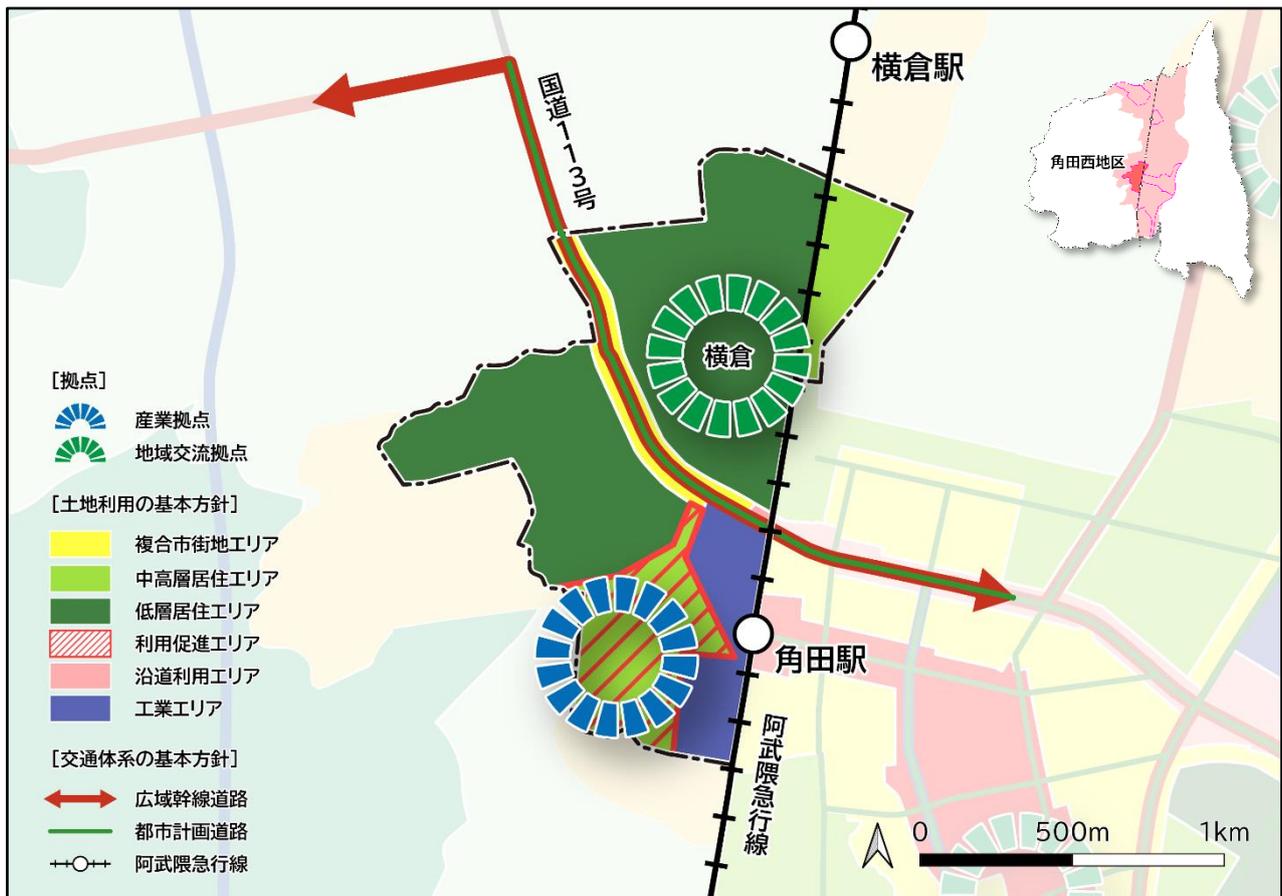
●更なる都市環境の整備に取り組みます。

- 市営住宅については、修繕・改修などの長寿命化対策を計画的に推進するとともに、将来的な見通しを踏まえ、施設の適正なあり方について検討します。
- 横倉字水上地内の土砂災害警戒区域等においては、周辺居住者への災害の危険性の周知を図るとともに、防災工事等の推進を図ります。

●周辺環境と調和した質の高い居住環境の形成に取り組みます。

- 第一種低層住居専用地域に指定しているエリアについては、低層の戸建住宅を中心としたゆとりある住宅地の形成を目指します。
- 尾袋川沿いの住居エリアについて、令和元年東日本台風による被災経験を踏まえ、当時の冠水高を考慮した越水対策を行います。また、尾袋川の河川改修については河川管理者である宮城県に要請を行います。

■ 角田西地区のまちづくり方針図



概要追加予定

①地区の将来像の方向性

住・商・工の調和 本市の産業振興を支える地区づくり

②地区づくりの主要方針と具体的施策

●利便性の高い沿道市街地の形成に取り組みます。

- 国道113号から県道角田山元線の沿線上において、交通利便性を活かした店舗、商業施設の誘導を推進します。
- 角田字町尻地区の良好な住環境と都市基盤について、適切な維持・管理を図りながら、ゆとりある緑豊かな住宅地の形成を目指します。
- 幹線道路の沿道における交通安全対策の充実に取り組みます。
- 誰もが移動しやすい環境づくりの実現に向けて、ICT や IoT 等の先進技術を活用した新たな公共交通システムの導入を検討します。
- 町尻5号公園及び町尻6号公園について、計画的な整備を推進します。

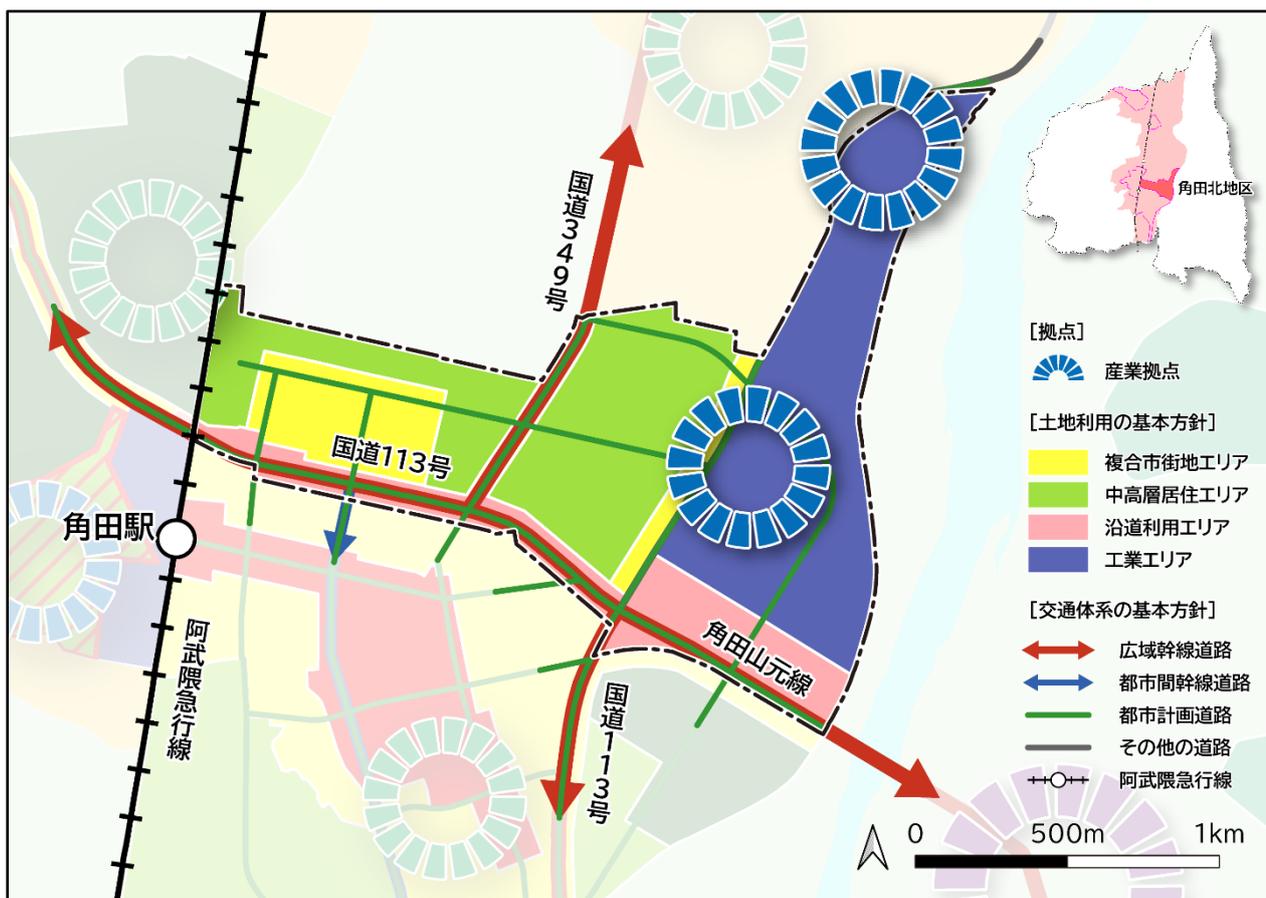
●操業環境の確保・改善に取り組みます。

- 周辺環境との調和を図り、良好な産業用地の形成を図ります。
- 既存の立地企業による雇用や生産規模の拡大に対応できるよう、土地利用のニーズを把握し産業用地の拡張を支援します。
- 地区内のネットワークを担う既存道路について、道路の拡幅や狭あい箇所解消などの計画的な整備・改良を推進し、適正な維持・管理に努めます。
- 立地企業に対して、環境保全に配慮した脱炭素化等の取組を働きかけていきます。

●水害に備えた安全・安心な市街地形成に取り組みます。

- 阿武隈川などの河川空間においては、国や県などの関係機関との連携・協力のもと、豪雨時における浸水対策の推進、水害に強い市街地の形成を図るための河川改修や排水対策施設の整備を促進します。
- 一級河川については、宮城県が定める河川整備計画に基づき、堤防整備や河道掘削などによる河道断面積の拡大を適切に実施するよう求めています。

■ 角田北地区のまちづくり方針図



概要追加予定

①地区の将来像の方向性

市北部の拠点 良好な住環境と産業用地の利便性向上に向けた地区づくり

②地区づくりの主要方針と具体的施策

●岡駅を中心とした居住機能を中心とした都市機能の拡充に取り組みます。

- 周辺住民や鉄道利用者のニーズ及び各種検討会等の議論を踏まえた上で、将来的な鉄道網の利便性向上を見据えた方策を検討します。
- 第一種中高層住居専用地域に指定しているエリアについては、整備された都市基盤の適切な維持・管理を図りながら、ゆとりある緑豊かな住宅地の形成を目指します。

●自然と調和した産業用地の維持に取り組みます。

- 良好な自然環境を保全し、緑に囲まれた産業用地の形成を図ります。
- JAXA が整備を進める官民共創推進系開発センターの設置に伴い、関連企業等との連携強化に努めるとともに、必要に応じた産業用地の整備や都市施設の整備について検討します。

■ 岡・君萱地区のまちづくり方針図

